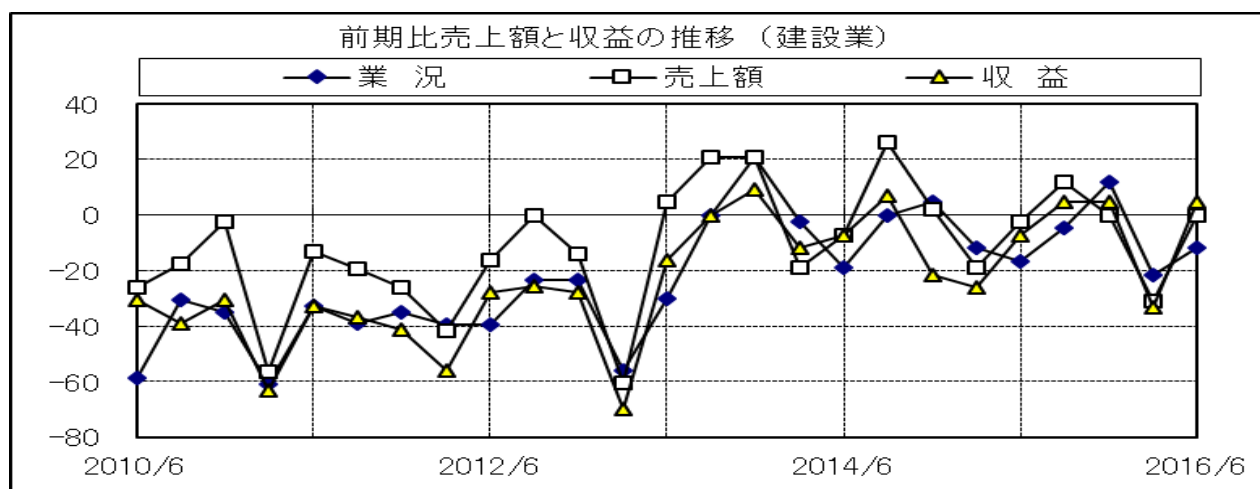


建設業 42 企業（回答率 100.00%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
業 況	11.9	-21.4	-11.9	-4.7
売上額	0.0	-31.0	0.0	38.1
収 益	4.8	-33.4	4.8	23.8

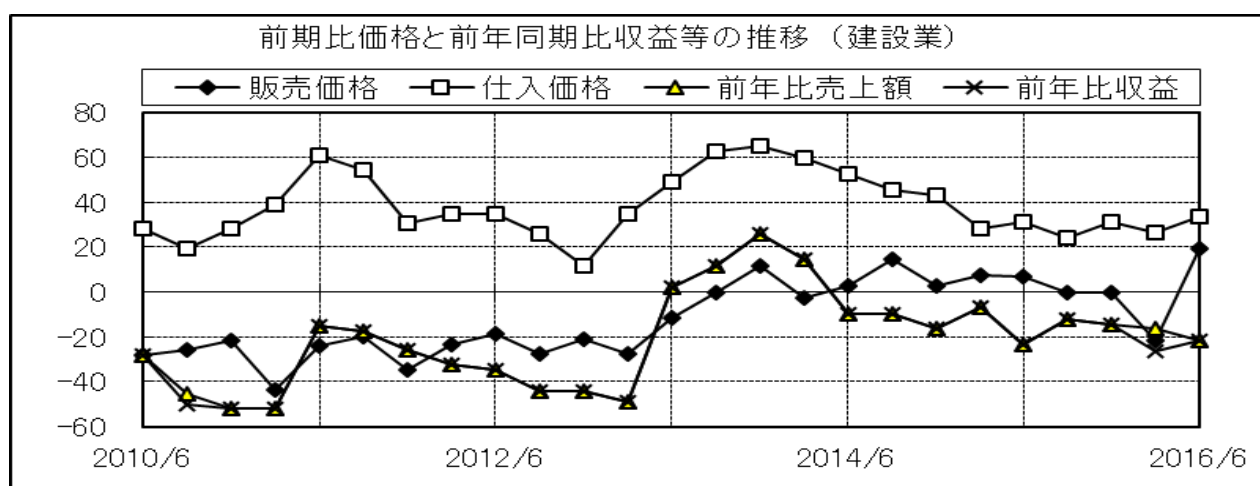
今期の業況判断 D. I. は $\Delta 11.9$ と、前期比 9.5 ポイント上昇し良化した。地区別 D. I. の水準は高い順に、えりも、広尾、様似、静内、浦河と続き、三石が最も低水準となった。前年 ($\Delta 16.6$) 比では、4.7 ポイントの上昇となった。売上額判断 D. I. は、前期 ($\Delta 31.0$) 比 31.0 ポイント上昇した。収益判断 D. I. は前期 ($\Delta 33.4$) 比 38.2 ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
請負価格	0.0	-21.5	19.1	0.0
仕入価格	31.0	26.2	33.4	9.5

請負価格判断 D. I. は、前期 ($\Delta 21.5$) 比 40.6 ポイントの大幅な上昇。仕入価格判断 D. I. は前期 (26.2) 比 7.2 ポイントの上昇となった。前年比では請負価格 (前年 7.1) は 12.0 ポイント上昇、仕入価格 (同 31.0) は 2.4 ポイント上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
残業時間	2.4	-16.6	-2.4	16.7
人手状況	-23.8	-4.8	-9.5	-14.3

残業時間判断 D. I. は $\Delta 2.4$ と前期比 14.2 ポイント上昇し、残業時間が減少したとする企業割合が減少した。
人手過不足判断 D. I. は $\Delta 9.5$ と、前期比 4.7 ポイント下降し、人手不足感を強めた。

□ 設備投資の動き

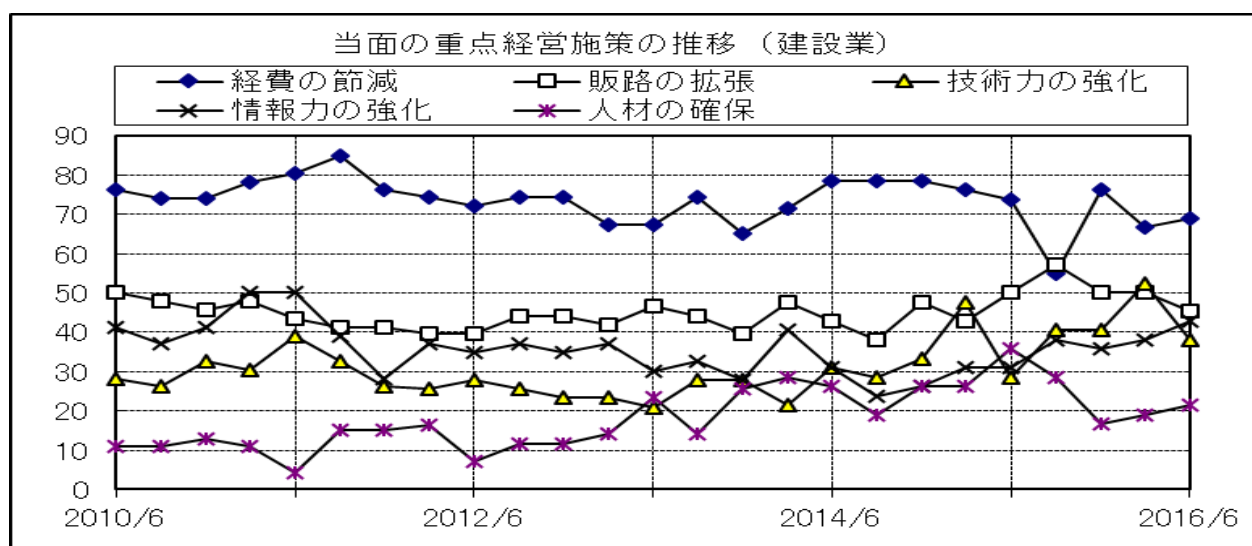
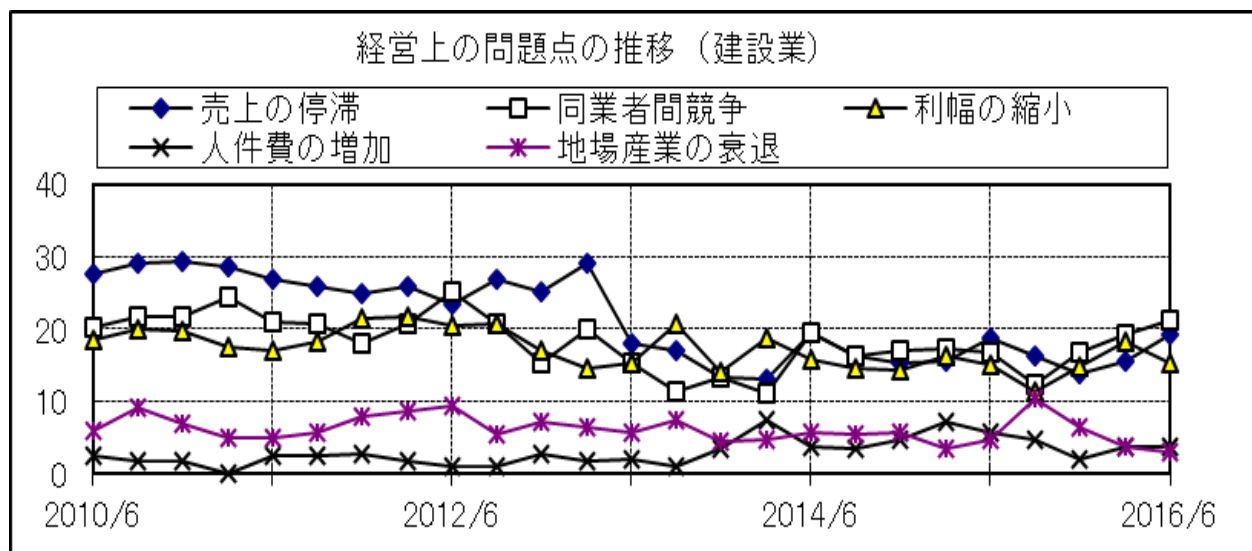
設備投資の充足感を示すD. I. は0.0で、前期比2.3ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は14.3%と、前期比4.7ポイント下降、設備投資は、前期8社に対し6社の実施となった。来期の設備投資は、7社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「同業者との競合」21.2%、「売上の停滞減少」19.2%、「利幅の縮小」15.4%、「大手企業との競合」が10.6%と続いている。

重点経営施策では、「経費を削減する」69.0%、「販路を広げる」45.2%、「情報力を強化する」42.9%、「技術力を高める」38.1%、「人材の確保」21.4%と続いている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△4.7と、今期比7.2ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は38.1と、今期比38.1ポイントの大幅上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は23.8と、今期比19.0ポイントの上昇を見通している。

予想請負価格判断D. I. は0.0と、今期比19.1ポイントの下降を見通している。

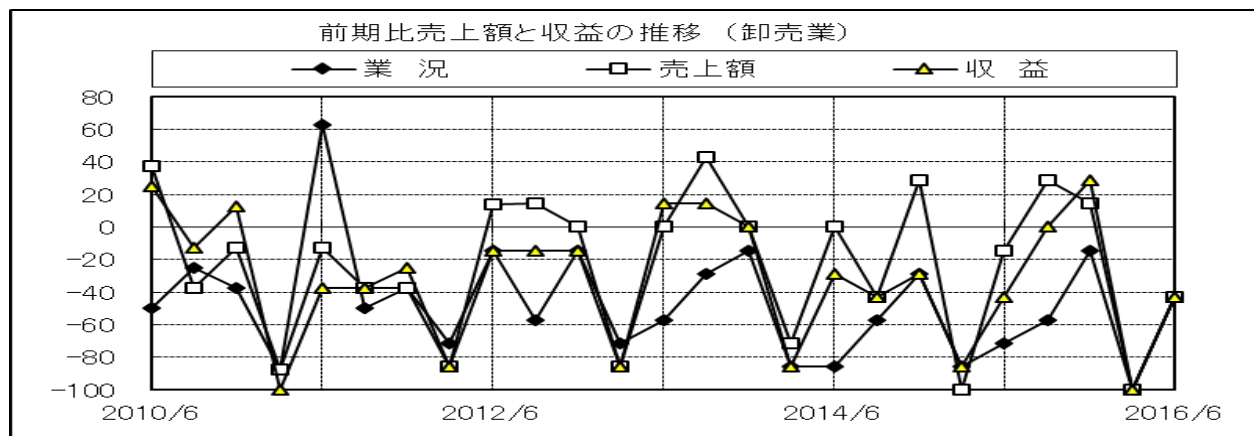
予想仕入価格判断D. I. は9.5と、今期比23.9ポイントの下降を見通している。

卸 売 業 7 企 業 (回答率 100.0%) の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
業 況	-14.3	-100.0	-42.8	-42.8
売上額	14.3	-100.0	-42.8	28.6
収 益	28.6	-100.0	-42.8	28.6

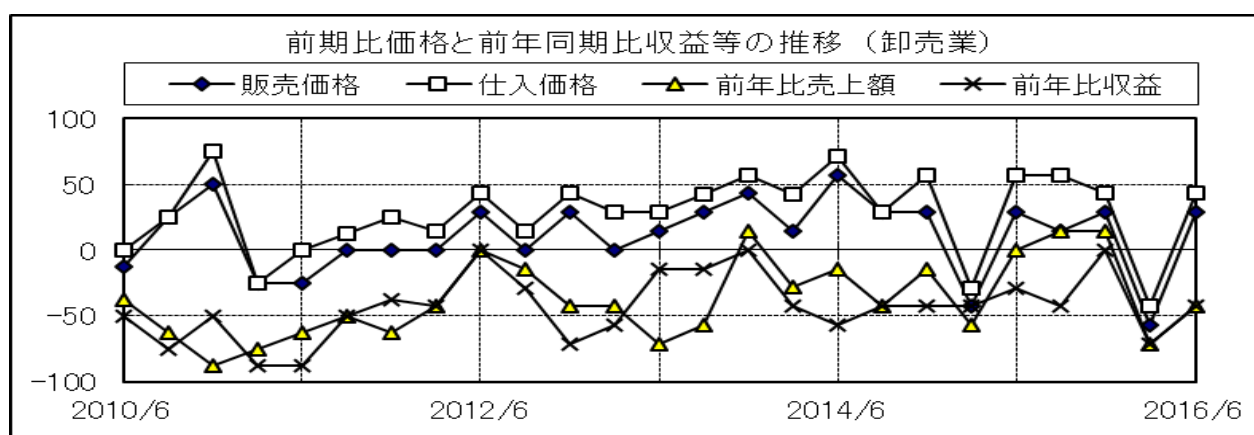
今期の業況判断 D. I. は△42.8 と、前期比 57.2 ポイント上昇し大幅に良化した。地区別の水準は、浦河・様似地区で横這い、静内地区で良化した。業況は、前年 (△71.5) 比 28.7 ポイント上昇した。売上額判断、収益判断 D. I. は△42.8 と、前期比 57.2 ポイントそれぞれ大幅に上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
販売価格	28.6	-57.1	28.6	0.0
仕入価格	42.9	-42.8	42.9	14.3

販売価格判断 D. I. は 28.6 と、前期比 85.7 ポイントの大幅上昇となった。仕入価格判 D. I. は 42.9 と、前期比 85.7 ポイントの大幅上昇となった。業種別にみると、水産・食品が、販売・仕入価格ともに上昇した。前年比では、販売価格 (前年 28.6) は同率、仕入価格 (同 57.1) は 14.2 ポイントの下降となった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
残業時間	42.9	0.0	14.3	28.6
人手状況	-57.1	28.6	-42.9	-71.4

残業時間判断 D. I. は 14.3 で、前期比 14.3 ポイント上昇した。残業時間が減少したとする企業割合が減少した。

人手過不足判断 D. I. は△42.9 と前期比 71.5 ポイント下降、人手不足感が強まった。

□ 設備投資の動き

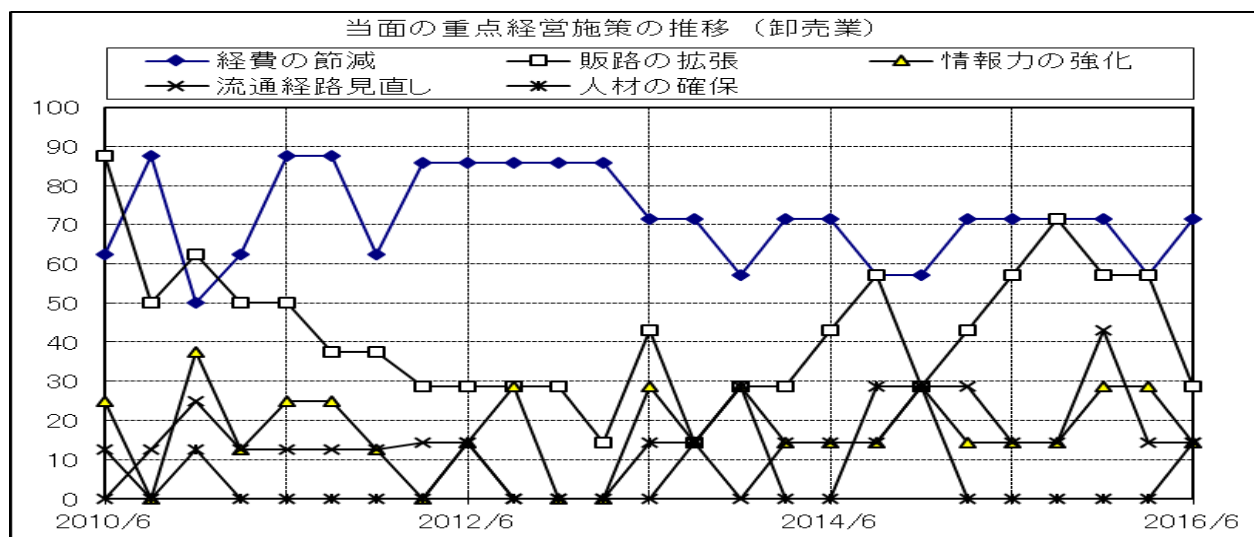
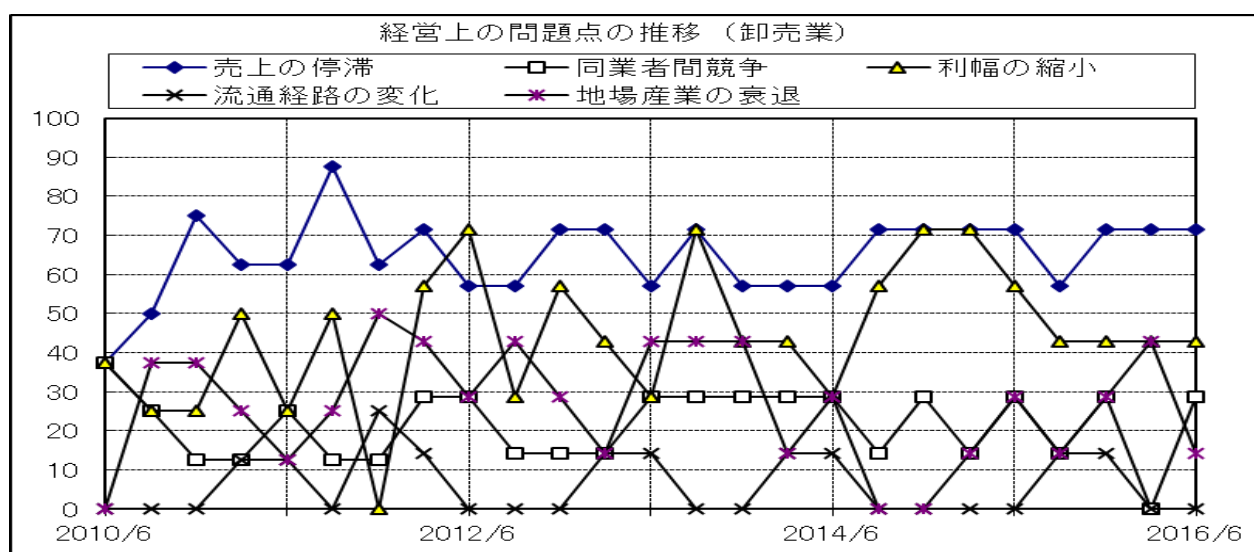
設備投資の充足感を示すD. I. は前期比横這いのゼロ水準。

設備実施企業割合は 57.1%と前期比 57.1 ポイント上昇、設備投資は、前期 0 社に対し、4 社の実績となった。来期の設備投資は 2 社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」71.4%、「利幅の縮小」・「取引先の減少」が同率の 42.9%、「同業者との競合」28.6%、「地場産業の衰退」・「合理化の不足」・「天候の不順」・「人手不足」・「小口注文配送増加」がともに 14.3%で続いた。

重点経営施策では、「経費を節減する」71.4%、「販路を広げる」が 28.6%、「情報力を強化する」・「品揃えを充実する」・「新事業を始める」・「流通経路を見直す」・「不動産の有効活用」・「人材の確保」・「労働条件改善」が同率の 14.3%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断 D. I. は△42.8 で、今期比横這いを見通している。

予想売上額判断 D. I. は 28.6 で、今期比 71.4 ポイントの大幅な上昇を見通している。

予想収益判断 D. I. は 28.6 で、今期比 71.4 ポイントの大幅な上昇を見通している。

予想販売価格判断 D. I. は 0.0 で今期比 28.6 ポイントの下降を見通している。

予想仕入価格判断 D. I. は 14.3 で今期比 28.6 ポイントの下降を見通している。